

# 第46回



# 釜ヶ崎 越冬闘争

2015/12/28~2016/1/4

**仲間内の団結で一人の餓死・凍死者をだすな!**

**今こそ、安心して働き生活できる釜ヶ崎をつくろう!**

万博が終わった1970年の年末。仕事が無くなり行政機関も一斉に休みに入ると、釜ヶ崎では多くの日雇い労働者がドヤ(簡易宿泊所)から路上に投げ出される事態が生じました。この状況に有志たちが「釜ヶ崎越冬対策実行委員会」を結成し炊き出しや集団野営に取り組んだことが越冬闘争の始まりでした。1975年には公園のテント村が大阪市・機動隊による取り壊し(行政代執行)を受けました。1978年には地区内の三つの公園が全面閉鎖されました。しかし越冬闘争は45年間、その時代の課題と取り組みながら一度も途切れることなく続けられてきました。今年の越年対策事業は昨年を引き続き地域内での実施となりますが、その中心となる新シェルターは一部未完成のままという難題を抱えながら取り組みとなります。

# 越冬支援連帯集会

12月21日(日) (ふるさとの家/午後3時~5時)

# 越冬突入集会

12月28日(日) (三角公園/夕方6時~8時)

## 去年の越冬闘争アラカルト



1/2 狭山裁判石川夫妻来笠

